旅と文化

発行所
東京都千代田区
神田神保町２〜30
財団法人全国
修学旅行研究協会
電（301）0531・2426
編集・発行人
永井熙

さくらフイルム
小西六写真工業

山と海の夏季行事

身心鍛錬と地域観察

突発的な災害、事故に注意

夏季休暇に行われる小、中、高校の各種行事は、春秋の修学旅行や遠足と共に、校外にて行われる学校行事として重要な位置をしめている。これは遠足や修学旅行では学ぶことの出来ない自然観察や身心の鍛錬、友達間の交際等の出来ることにあると思うが、その半面において、自然環境の指導、生徒間の交友問題、事故防止等の点において、まだまだ反省すべきことがあると思われる。

周到な計画立案が必要

夏季行事は、夏季高温の教室を離れて冷涼な海や山の各施設において実施されるので、日帰りの遠足や日程に追い廻わされる修学旅行と異つて、一ケ所にゆつくり落ちついて海水浴や山登り等が出来る。したがつて、殆んどの学校が身心鍛錬を主体として行事を組んでいるのが実状である。しかし、朝食後或は夕食後又は雨天の際などは、教科学習の指導や施設附近の自然や村落の歴史、風俗等の調査や研究を行わせることは、大した困難ではあるまい。

この為には、各学校毎に夏季行事の指導細案を作り、学習指導をこの中に織り込む事が必要である。したがつて、引率教師は細案に従つて児童や生徒を指導出来るような教科内容の事前調査が必要となる。施設附近の自然（地形、地質植物、動物、気象、海流等）や社会（聚落、産業、歴史、交通、文化等）を調査するためには、文献は勿論のこと、下見の巡検を利用して実地調査が必要になつてくる。この外、児童や生徒が自主的に勉強できる方法を考えれば、児童や生徒は興味深く、喜びの中から学習を進めてゆくに違いない。

また、身心の鍛錬も、児童や生徒の発育や健康の状態、自然や天候の状態に応じて計画立案の上実施されることは勿論であるが、ともすれば毎年同じ指導を繰返すことから来るマンネリの弊害に注意する必要がある。

災害は突発的に起る

このことは、事故対策が形式化されることになる。特に数年無事故で夏季行事を終了している学校にその傾向が見られるようである。災害は突発的に起り、病気や食中毒は不注意の際に発生し易い。これは夏季行事のみでなく、遠足や修学旅行などと同様校外教育の場合に留意すべき点である。

千葉県岩井海岸にて夏季鍛練中の東京都立城南高校生

海、山の事故防止に努めよう

文部省体育局長　杉江　清

毎年の「でき死者」は、七千人から八千人にのぼるといわれる。このうち、水泳による事故死は、小学校の子どもたちに最も多い。

このような頻発する事故のために、ややもすると学校における水泳指導が敬遠される傾向がみられることはまことに遺憾なことである。これから、愈々水泳のシーズンにはいるわけであるが、学校の先生や親たちの厳重な注意にもかかわらず、泳ぎについてのじゆうぶんな指導がなされぬままに、今年もおそらく子どもたちは河や海にとび込むことであろう。

改訂学習指導要領においても、この点を重視して小・中学校を通して、全国いずれの学校においても適切な水泳指導が行われることを期待し、特に安全の立場からの指導の強化を強く要請しているわけである。

山の事故についても、水泳の事故以上に世間の注目を集め、今や社会的な重大関心事の一つになつている。事故の種類は、転落、天候の急変、なだれ、落石などによるものが大部分である。

これは、昭和三十一年のマナスル登頂成功以来の登山ブームによる悲劇ともみられるが、最近における青少年の野外活動の急激な増大を考慮し、関係者間で、これらの事故防止対策についての厳重な検討が望まれる。

登山者について特に警告したいことは、山をあなどるな、準備は慎重に、決して無理をしてはいけないなど登山者の守るべき基本的な心構えを徹底する必要があろう。

間近に夏期休暇をむかえ、水泳、登山、キャンプ、サイクリングなどの野外活動は、青少年の健全なレクリエーション活動として積極的に奨励したいと思うが、事前における万全の準備と周到な計画をもつて、今年こそ、あの悲惨な事故を起こさないよう最善の努力を切望してやまない。

指導は地教委、校長会

細案の実施は小中学校で

小、中学校の夏季行事は、義務教育の立場から、地方教育委員会や校長会等が中心となつて計画立案を行い、地域の選定、日程、指導要領、輸送、費用等を定めているが、細案は各学校に任せている。しかし、都会地と農、山、漁村とは自らその実施形態が異なつており、各々その地域性に応じて行われているので全国的には一様ではない。

東京都千代田区内の場合では、小中校の夏季施設は、小学校では箱根姥子の林間学校（仙石荘）に一五〇名、鎌倉の臨海学校に二〇〇名、中学校では軽井沢の林間学校に二〇〇名、千葉県保田海岸の臨海学校に一〇〇名をそれぞれ収容して、夏季鍛練を行つている。また小学校二、三、四年の虚弱児童を対象に、七月二十一日から三十一日まで、各校四日間、それぞれ皇居内において緑蔭学校を開いている。区学務課長川田春海氏、指導主事高野勝一郎氏は区内の夏季施設について次のように語つている。

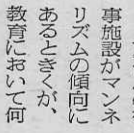
「千代田区では夏休みの児童生徒の指導には特に力を入れていて、本年は更にこの外奥日光や多摩川などにも施設を増やした。児童生徒の輸送には、各校のスケジュールに従つて二台のスクールバスを動かしている。皇居内の緑蔭学校では、簡単な学習や昆虫採集などを行つているが、宮内庁の雅楽や馬術、音楽隊の演奏なども見聞させて児童の教養を高めている」

東京都北区内の小、中学校では、区立の鎌倉臨海学園（鎌倉市材木座）の設備を利用して、夏季における児童生徒の心身を鍛練している。北区で鎌倉に臨海学園を設けたのは昭和二十二年からで、三十一年には区費一千五百万円をかけて十二教室（畳敷き）を新設し、フトン、毛布等の寝具を備え、二三〇名を収容できる。勿論、食堂や炊事場など完備しているし、常時管理人を置いている。北区教育委員会指導室長鈴木照男氏は「北区立鎌倉臨海学園は、区内の小学校（三八校）中学校（一七校）の児童生徒の中から体の弱い者を主として選び、夏季において心身を鍛練している。臨海学園の運営や管理は、学校側から七名、教委側から四名の運営委員によつて行われている。運営委員はこの外に輸送や宿泊なども指導するが二泊三日の費用は小学生が四五〇円、中学生が六〇〇円である。ただ夏季以外には殆んどこの施設を利用しないので、何とか有効に使いたいと思つている」と思つている。

箱根林間学校での自然観察（千代田区内の小学生）

夏季行事施設への希望

東京都教育庁指導部主査　佐野政雄



一、忙しさに負けて、ねらいを見失つてはならない。

夏休みを一ケ月後にひかえ、学校は夏休みの指導計画や実地踏査に忙しい。人間の常としてこういうときには、しばしば、物事の本質を見失いがちであろう。夏休みの行事施設がマンネリズムの傾向にあるときくが、教育において何よりも重要なことは、指導のねらいを堅持することであろう。子どもの夢をのせて、多額の費用をかけ、教師の全神経を集中しての仕事であるだけに、計画に際しても、実施の段階においても、各行事施設のもつている教育的価値や指導目標を見失つてはならない。

そのねらいは、個々の行事施設について、全職員の検討を経て確定されるであろうが、共通してあげられるものは

①自主的な生活態度の確立

②心身の健康の増進

③集団生活の体験

などであろうか。ともかくも、夏休みでなくては味えない生活経験をさせることである。そして、それらのねらいを総括するものとして、子どもたちに「よき思い出」となるように仕組むということではなかろうか。

二、いささかの危険も、伴つてはならない。

夏の事故に水死がつきものであるが、交通事故や食中毒、また性的事故などの事例が多い。行事に子どもを参加させる親は出発までは、子どもの喜びにつられて満足そうにみえるが、出かけてからはしずみがちで、帰るまで「無事故」を祈り続けるそれほどに学校の教師を信用しないのだ、とみる人もあるが、親のこの本能的な願いを引率するすべての教師、計画するすべての教師が、最も崇高なものとして深く考えてもらいたい。

しかも、その考え方が、大まかな構えでなく、専門的なきめの細かなこと、学校としての計画性のあることが、強く求められる。

こうした立場から、次の観点があげられよう。

①ち密な計画とくに責任体制の確立。

②生活の変化、厳しさと和やかさとの調和。

③個人指導、師弟同行の生活

④指導よりも管理の優先。

× × ×

高校は身心の鍛錬を

夏季行事は各校の自主性に

高等学校の夏季施設は、小、中学校の児童生徒に比較して心身が発達しているので、参加人員や実施期間や内容が異つている。東京都の例を見ても、参加者は一年生が多く、期間も長く、山登りや海水浴などの心身鍛練が主となつている。しかも、ほとんどが各学校毎に山や海に寮を持つているので、都教育委員会では大体各校の自主性にまかせている。

都立九段高校では、千葉県勝浦海岸の学校寮（至大荘）に一年が参加し、都立日比谷高校では、千葉県勝山の学校寮（勝山寮）へ一年が主となつて百二、三十名交替で参加する。この外少人数であるが山岳部などは教師の指導で出かける。

都立一ツ橋高校では、生徒の希望を調査した結果、本年は海の行事を中止し、長野県蓼科高原へ一年（約一三〇名）福島県裏磐梯へ二年、三年の希望者（約一三〇）が参加することになつている。

都立大森高校では、長野県野尻湖畔の旅館を借りて夏季行事を行い各学年の希望者（約百名）が参加する。この外各部（バスケット、バレー、柔道、剣道）が合同して長野県下諏訪に合宿訓練を行う。

都立城南高校では、例年通りに海へは千葉県岩井海岸の学芸大青山荘を借りて一年が約一三〇名、山へは長野県蓼科高原に一年が約一二〇名（二年は希望者のみ）がそれぞれ参加する。校長田波又男氏は次の様に語つている。

「青年期の高校生の夏季行事は、心身の鍛練を主としているが、生徒の保健対策として、各担任教諭を通して事前に教育すると共に、校医の健康検査を十分に行い、当日は保健婦を同行させる。風紀問題は、日頃の男女共学によつてスムーズに交際しているので、問題を起す心配はない。危険防止については、事前の日帰りコース（三浦半島、奥多摩）で各クラス毎に担任教諭が十分訓練しているから大丈夫だと思つている」

松島で食中毒

盛岡市河北小学校

修学旅行生徒百名

岩手県盛岡市河北小学校（校長岩持布三氏）の六年生は、仙台、松島方面へ二泊三日の修学旅行に出かけ、六月十二日帰校したが、翌十三日から二百九・のうち百人の軽い下痢患者が発生した。盛岡保健所の調査によると、松島や塩釜の旅館の食事による中毒ではないかと見られている。

ドイツの夏季行事と修学旅行

東京ドイツ学園長　B・エバスマイヤー

ドイツにおける学校の夏季行事は、海岸や山にある学校の家（スクール・ホーム）で、クラス単位に担任の先生と共に約三週間を暮している。そこでは土地の景観や風俗、歴史、地理など調らべるが、生徒は自主的に勉強し、研究したものをまとめて教師へ提出する。小学校ではバスを使つて山や海のスクールホームへ行くが、ドイツは海岸線が短いので海より山へ行く学校が多い。

ドイツでは、日本のように遠足や校外見学や修学旅行に似たものを実施している。ドイツでは歩くことを奨励しているので、修学旅行でも或る地方までバスで行くと、そこから目的地までは大低歩いてゆく。宿泊は日本と違つて旅館には泊らないで、各地に建てられたユースホステルを利用する。したがつて費用も、日本に比較して著るしく安い。修学旅行の期間は中学（高校も同じ課程）で約一週間位である。

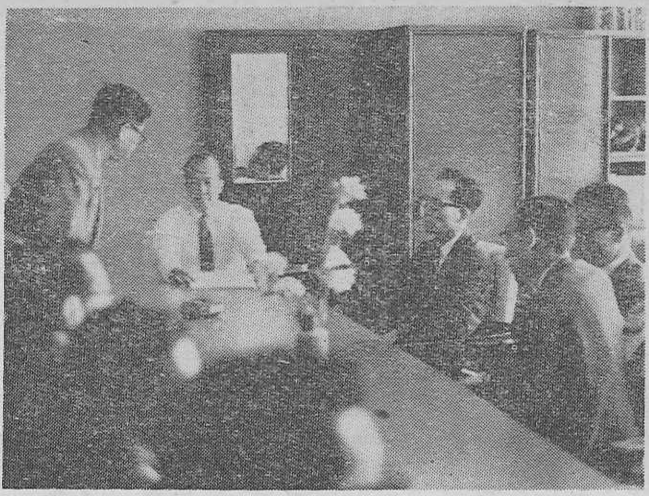
（文責記者）

東海道を走る〃こまどり〃号

デラックス新造車で

6月21日の国鉄本社理事会で決る

かねてより東海三県（愛知、岐阜、三重）修学旅行委員会では、修旅専用電車〃こまどり〃号新造のため、国鉄利用償二億五千二百万円を引受け銀行と話し合いを続けていたところ、五月中旬これが纒つたので、去る六月十七日東海三県修旅委代表九名、全修協山本理事長、永井事務局長等十四名が国鉄本社の長瀬旅客課長を訪れて〃こまどり〃号の新造車について種々希望意見を述べた。


長瀬課長と話し合いをする東海三県修旅委代表

話し合いに入るや先づ長瀬課長は本年度の利用償のわくがないので本年度に九四五五万円、来年度に残額を入れることにより新造車を作ることを理事会で承認して貰らよう努力したい旨を明らかにしたので、理事会がこれを承認すれば設計に二ケ月、建造に六ケ月以上かかるから、〃日の出〃を更に改良した超デラックス型の修旅専用電車〃こまどり〃号が東海道を走るのは、来春からということになる訳である。

当日の話し合いは次の通りである

山本理事長　新造車の設計はどうなつているか。

長瀬課長　これから設計をはじめるところだ。大体湘南型と同じであるが、〃日の出〃のような三人掛けは止めたい。

修旅委代表　屑箱やホーキ及放送設備等はどうするか。

長瀬課長　全部設備する。

山本理事長　車内の注意書きも修学旅行に適したものを掲示したい新造車はいつ頃出来上るか。

長瀬課長　掲示板は移動教室にふさわしいものにしたい。新造車のことはこれから理事会にかけ、決定次第業者と契約し設計を始めるので、建造に半年間の期間を加えると、今秋には間に合わない。

修旅委代表　病人が横になれる坐席がほしい。

長瀬課長　二等車のように腰掛を倒すような設備を考えている。また車体の色も変えてみようと思つている。今秋には利用償の、わくがなくなるので、本年度分として九四五五万円を取敢えず納めておき、残額は来年四月に納めてほしい。

山本理事長　設計書はいつ頃見せて貰えるのか。

長瀬課長　十月頃出来上る予定である。その時はお知らせする。

この会見の後六月二十一日国鉄本社理事会において、〃こまどり〃号新造の問題が採り上げられた結果、長瀬課長の努力が実を結び、十七日会見の内容で新造することが決定した。尚、〃こまどり〃号新造車の設計についての第一回の打合せ会は、六月二十七日午前十時、国鉄中部支社に東海三県修旅委の各県事務局長が集つて行われた。

我が校の関西修学旅行

新コースの実施と反省

東京都砂川中学校長　**鈴木万一**

去る五月、わが校で試みた関西修旅の新コースと設定の理由および反省。

第一日——ひので号で京都へ、本願寺と東山一部を見学して京都で一泊。

第二日——早朝比叡山へ。その後に京都市内見学、奈良街道を宇治によつて奈良の旅館へ一泊。

早朝の比叡山は車の輻輳せぬ時をねらつたので、おそくなると途中の交通整理でひまどり市内見学を割愛の恐れがあつたから。したがつて、一回のストツプにもあわなかつた。幸い好天に恵まれたがもし雨で展望がきかなくとも、比叡コースは実施した方がよい。生徒の反省でも修旅中比叡山が圧倒的に支持されたし、雨天のため嵐山に変更して生徒が不満を訴えた学校もあつた。

第三日——早朝奈良公園見学、奥山をドライブして法隆寺で昼食、阪奈国道を経て大阪城、市内を見学、京阪国道を京都へ出て帰京。

西の京を省いたのは、時間的制約もさりながら、関西修旅が余りに寺社や仏像の見学に集約されて成果の挙らぬことを感じていたので、これは事前の書物や映画の全体およびグループ研究で指導した

早朝の奈良公園見学には一つの団体の姿もなく、清澄な空気と緑の中をすがすがしい落ちついた気分で見学できた。

京都、奈良各一泊は引率者の手数はかかるが、生徒の体験を豊富にしまた見学の時間的関係からも是非おすすめしたい

奥山ドライブは山頂から大和平野を大観して平城の昔を指呼して学習する上にぜひ必要と考えたからである。

阪奈国道の高所からの大和、大阪平野の展望、大阪城に登り、市内を一巡して関西修旅がともすれば歴史的回顧の旅に終りがちなのを、ここで僅かでも近代的産業の息吹にふれることができたこと、阪奈、京阪国道を頻る快適なスピードで見聞を広めよかつたと思つている。

山形県で法改正運動

修旅の補助金を二年生へ

修学旅行が春だけに集中されることは、宿泊の点からも、輸送の面からも、良い結果が得られないこれは上級入学のための受験をひかえているので、修学旅行を秋に実施することは学校生活上、何となく落つかないということが、一番大きい理由である。実際は、秋の旅行にもすてがたい趣きがあつて、昔はその方が多かつたのである。ところで、山形県ではこの秋から修学旅行専用列車を設定するとなると、国鉄では、春と秋の修学旅行に、ほぼ折半して計画的輸送をというのが大前提となつている。これに関し、全修協山形県支部長（県議）完戸一郎氏は、次のように語つている。

「中学校側では、計画輸送は大賛成だ。だが、秋にあたる学校では半年くりあげて、二年生の秋にやらせたい。このことは積立貯金の方も、一年から、そのように計画してやらせるので、別にさしつかえはない。ただ、問題は、要保護の家庭の児童に、国庫と地元の市町村と半分宛の旅費が支給されるのが、最終学年の三年生に限られているので、この補助金は、中学校在学中、一度にかぎつて、最終学年に限ることなく、二年でも、もらえるように改めてほしいというのが圧倒的要望である。これは当然のことで、別に、このために全体の予算がふえるわけではないただ、修学旅行実施の数が明らかに、あらかじめ掴れないというところが困る点であるが、然し、これも、前年度に調査、計画すれば出来る。そこで、山形県では、この六月県議会の文教常任委員会から発議して、県議会の意見書として、この趣旨を文部大臣並に衆参議院に提出し、法改正をしてもらうよう要望することになつた。また、同県教育委員会では、同様の趣旨を、要望書として、文部大臣宛提出することにした。全国でもこのことについては全く異議があるまいと思うので、全国的に、この実現について御協力をお願いする次第です。」

また、山形県修学旅行研究委員会副会長、山形一中校長、原田国夫氏も次のような意見をよせている

「東北の文化、交通にめぐまれない地域にも、ぜひ修学旅行用の専用列車を設定してほしいと、私たち、全県下の中学校長は、全員署名して立ち上り、全修協の山本理事長の色々な御指導を仰いで国鉄本社や、東北支社、並に秋田管理局等にお願いにまいつた結果、大変あたたかい御心もちで、来年度は、何とか実現しようというおはなしで、感激している次第です。ところで、この具体的な問題について、色々話しあいましたが、先頃の県下中学校長会の理事会のさいにも、計画輸送には全面的に協力するから、秋にやる学校の二年生へも、保護世帯児童への旅費の補助金をもらえるように措置してもらいたいが、この要望を、ぜひ文部省につたえて、実現するよう努力してほしいと、全修協の山形県支部長完戸県議に申し入れた次第でした。このことさえ、実現すれば、春であろうが秋になろうが全学校あげて計画輸送に協力しよう。文句をいわずに、県修学旅行研究委員会の計画案をのむという話しあいになつた次第である。どうぞ、全国の中学校長の各位にもこの実現方にぜひ御協力下さるようお願いいたします」

論説

修学旅行をよりよくするために（4）

東京都立白鴎高等学校教諭　**川合元彦**

○　見学料を無料に

てもとに私の学校の昭和十四年の資料がある。今と比較してみよう。

見学場所	昭和一四年	現在	倍率
法隆寺	一五銭	五〇円	三三三
金閣寺	五銭	二〇円	四〇〇
銀閣寺	五銭	二〇円	四〇〇
三十三間堂	一〇銭	一五円	一五〇
若草山入園料	一銭	八円	八〇〇
（その他）			
京都市電	四銭	一三円	三二五
東京—法隆寺間国鉄	五六三銭	九五〇円	一六九
宿泊料	二五〇銭	五〇〇円	二〇〇

資料の一部だが研究材料にはなろう

関西旅行だと、コースの選定に関係するが、見学料（拝観料）は馬鹿にならない。だいたい仏像や建物をみせて高い料金を生徒からとることが不当だと思う。

○　宿泊所の建設を

旅館の費用は、旅行費中で最大の比率をしめる。ただし、安かろう悪かろうでは旅行の成果に大きく影響する。

それだけに問題は復雑である。では一般の旅館を利用している現状の打開を考えたらどうか。富士山麓に「青年の家」がある。これもいいだろう。利用の点から、青年の家式の宿泊施設を修学旅行にふさわしい場所に、もつと数多く建設できないだろうか。そこに教養の高いガイドを配置し、指導にも当らせたらと思う。私はいつも米国のパーク・レインジャーを思い出す。また、ユースホステルの利用の仕方を考えたりする。国立公園設定の先駆者米国は、その利用でも立派な手本を示している。修学旅行の先駆者日本も、その内容で、あらゆる方面に秀れた手本を示すべきであろう。

私の希望は述べつくせないが、要するに、根底に、若人の将来への期待をこめた温かな愛情が脈うつような援助を心からお願いする次第である。

（終）

大和路を語る会好評

松本氏の講演とスライド映写

仙台市公会堂の大和路を語る会

奈良県や奈良市、吉野町等の主催による〃修学旅行のための大和路を語る会〃が、東北各県教委や全修協等の後援により、去る六月十三日より三日間に亘り、福島市、仙台市、盛岡市の各公会堂において、現場中、高校の先生多数を集めて盛大に開催され、協会より永井事務局長、山本調研部長が参加した。各会場では、先づ奈良県観光課長恩田正典氏の開会の挨拶があり、〃奈良の塔と仏〃のスライド上映の後、奈良県嘱託松本楢重氏の〃寺と仏〃について講演があつて座談会に移つた。

座談会で参加者から出た意見の主なるものは、正倉院、東大寺、法隆寺等奈良市内外の各見学地に関するもの、伝説と史実を混同するバスガイド指導の問題、夜間外出に関する問題、ガイド（案内人）の対策、バス駐車場の問題、宿泊旅館や土産物に関する問題、京都と奈良の旅館比較、修旅コースの選定の問題等で、スライドや講演と共に奈良地方を旅行する学校には非常に益するものが多かつた。

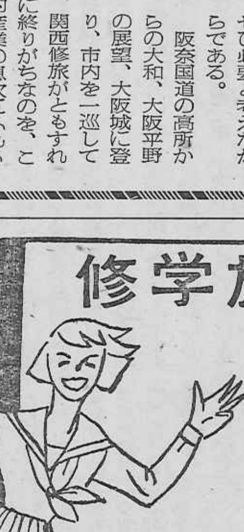
夏季施設の食中毒 赤痢予防

効果のある「ホルム錠」

暑い時には食中毒や赤痢などにかかり易いが、順天堂大学教授小谷新太郎博士はその予防について次のように語つている。

「正しい手洗いの奨励、中性洗剤による食器洗い等が必要である。予防薬として抗生物質を使う場合は抗生物質に耐性の赤痢菌が出来て、きかなくなることもあるから考えものである。最近ヨードを含む薬でキノホルム（田辺製薬のホルム錠）という薬が販売されているが、これは赤痢の治療にも予防にも効果が高いものであるから、一週に二日か三日のんでおれば赤痢を相当予防できることになる」

夏季施設で児童生徒が山や海に出かける場合、この薬を利用することによつて、教師や父兄が赤痢や食中毒にかかる心配をなくすことが出来ると思う。



修学旅行は当社へ！

本社　東京都千代田区　国際観光会館内(23)4035
関東営業局　東京都千代田区駿河台メンソレビル(29)7771
関西営業局　大阪市天王寺区上本町六丁目(77)8551

近畿日本ツーリスト

小学館がおくる
新刊辞典の決定版!!

新解国語辞典
金田一京助　佐伯梅友　共編
収載語数六万余　定価三五〇円

〈中学生用〉〈中高生用〉

ユニヴァース英和辞典
稲村松雄　梶木隆一　共編
重要見出語一万二千　定価二〇〇円

★昨年度最大採択数を誇る
学習国語新辞典　定価三三〇円